

第48回企業短観調査 (2023年1月) 実績分

調査結果

全体

考察

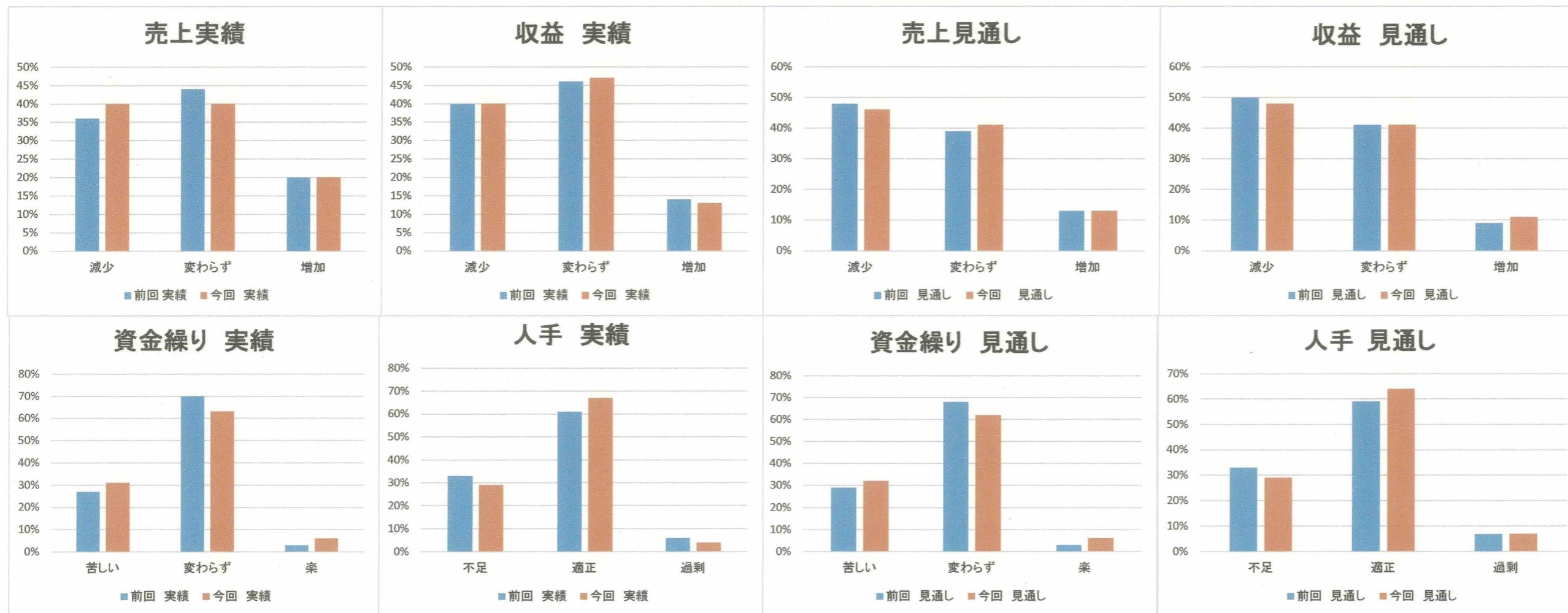
(1) 回収状況

業種	対象事業所数	有効回答数 (回収率)
卸売業	39	6 (15.4%)
建設業	261	13 (5.0%)
小売業	458	26 (5.7%)
サービス業	425	29 (6.8%)
製造業	125	16 (12.8%)
全業種	1,308	90 (6.9%)

売上・収益の実績・見通しともにほぼ横ばい、資金繰り・人手についても実績・見通しともにおおむね横ばいの推移で、一部の業種の繁忙期などにより持ちこたえているという面も否めない。

売上・収益関連で減少と回答した企業の割合は4割を超えており、増加と回答した割合は1～2割である。各種物価高騰などの影響や、値上げ等に伴う生活防衛等の消費行動変化により、依然として経済状況は改善には転じていないと思われる。

今後も各種値上げが進む見込みであり、益々の消費低迷が懸念される。また、そのような影響による資金繰り悪化などの可能性もあり、注視が必要であると思われる。コロナ禍は以前よりだいぶ解消に向かっており、今後交流人口の増加など、人の動きに伴って経済循環が活発になることを期待したい。



第48回企業短観調査 (2023年1月) 実績分

調査結果

卸売業

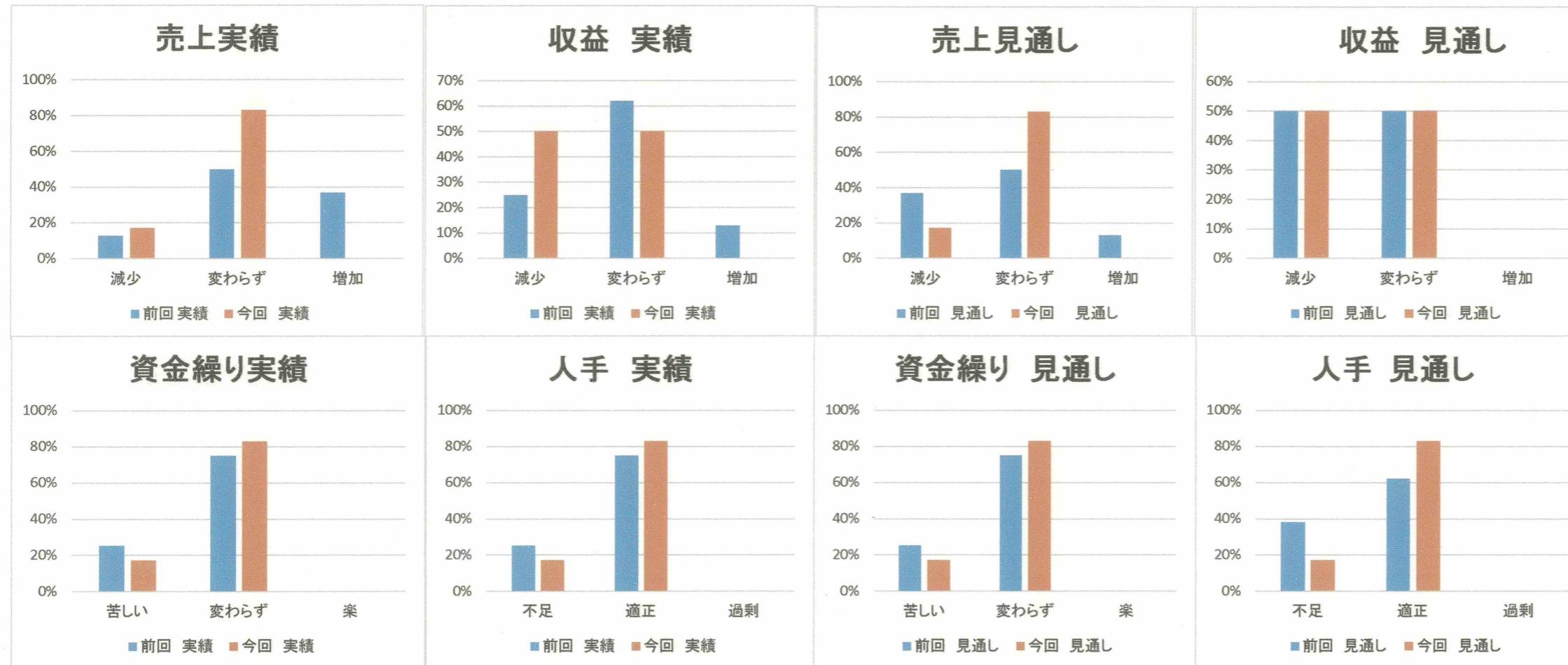
(1) 回収状況

業種	対象事業所数	有効回答数 (回収率)
卸売業	39	6 (15.4%)
建設業	261	13 (5.0%)
小売業	458	26 (5.7%)
サービス業	425	29 (6.8%)
製造業	125	16 (12.8%)
全業種	1,308	90 (6.9%)

考察

売上の実績・見通しは変わらずと回答した企業割合が8割を超えており、安定的に取引があると思われるが、収益実績では減少と回答した企業が大きく増加しており、収益見通しも5割が減少と回答している。経費のコスト上昇に伴い、今後も収益が悪化する懸念がある。

資金繰りについても変わらずとの回答が多いが、実績・見通しともに楽と回答した企業はなく、今後資金繰りの悪化も懸念される。



第48回企業短観調査 (2023年1月) 実績分

調査結果

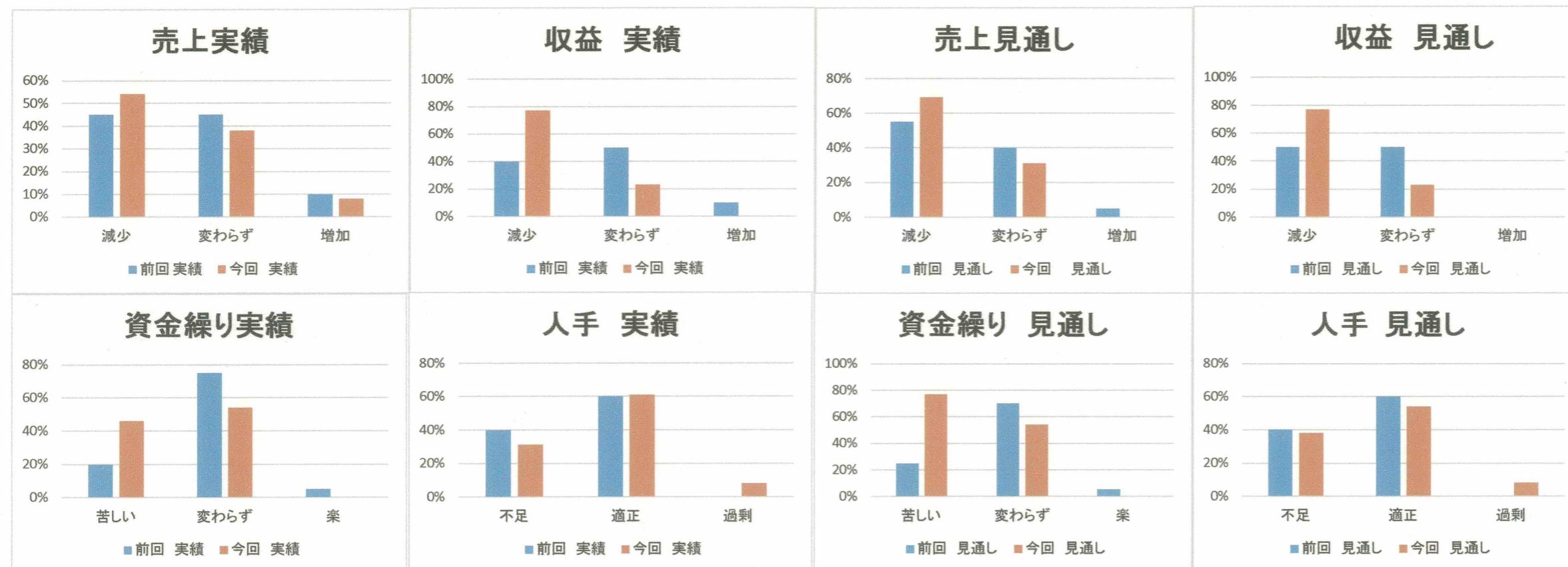
建設業

考察

(1) 回収状況

業種	対象事業所数	有効回答数 (回収率)
卸売業	39	6 (15.4%)
建設業	261	13 (5.0%)
小売業	458	26 (5.7%)
サービス業	425	29 (6.8%)
製造業	125	16 (12.8%)
全業種	1,308	90 (6.9%)

売上・収益の実績・見通しともに減少と答えた企業が大幅に増加、資金繰りも苦しいと答えた企業が大きく増加、人手もやや過剰方向へシフトしている。季節的な要因も大きいと思われるが、今冬は雪が少なめで、冬場の収入源の1つでもある除排雪・雪下ろし等の受注が減少しているものと推測され、また、昨今の各種物価高騰・人件費高騰を受け、収益減少と回答した割合が最も大きい。今後資金繰りなど注視が必要である。



第48回企業短観調査 (2023年1月) 実績分

調査結果

小売業

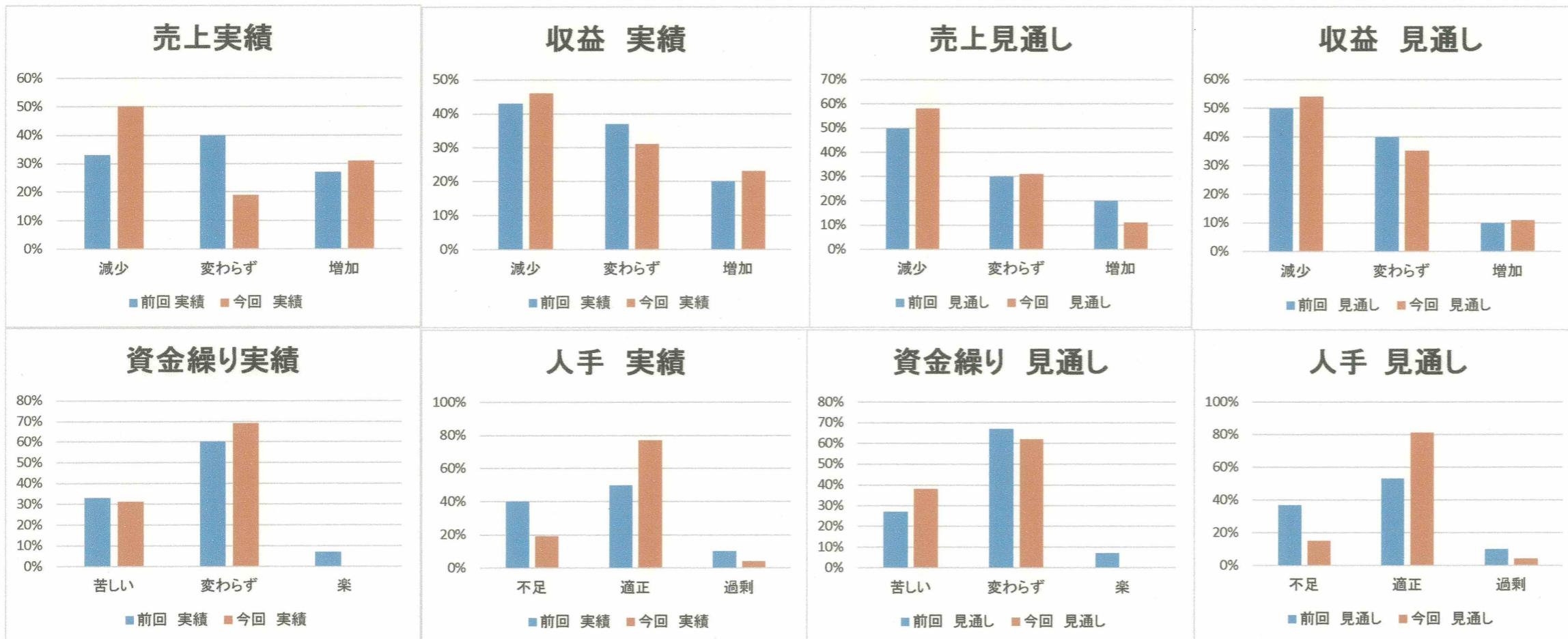
考察

(1) 回収状況

業種	対象事業所数	有効回答数 (回収率)
卸売業	39	6 (15.4%)
建設業	261	13 (5.0%)
小売業	458	26 (5.7%)
サービス業	425	29 (6.8%)
製造業	125	16 (12.8%)
全業種	1,308	90 (6.9%)

売上・収益の実績および収益見通しについては、繁忙期ではあるものの、減少及び増加と回答した企業が増えており、取り扱う商品などにより分散したものと思われる。しかし、売上見通しについては減少傾向に振れている。今後のさらなる商品の値上げにより、消費が低迷すると考えているものと思われる。

資金繰りについても資金繰り見通しで苦しいと回答した企業が増加しており、やや悪化傾向となっている。売上減少の見通しから資金繰りの懸念がうかがえる。



第48回企業短観調査 (2023年1月) 実績分

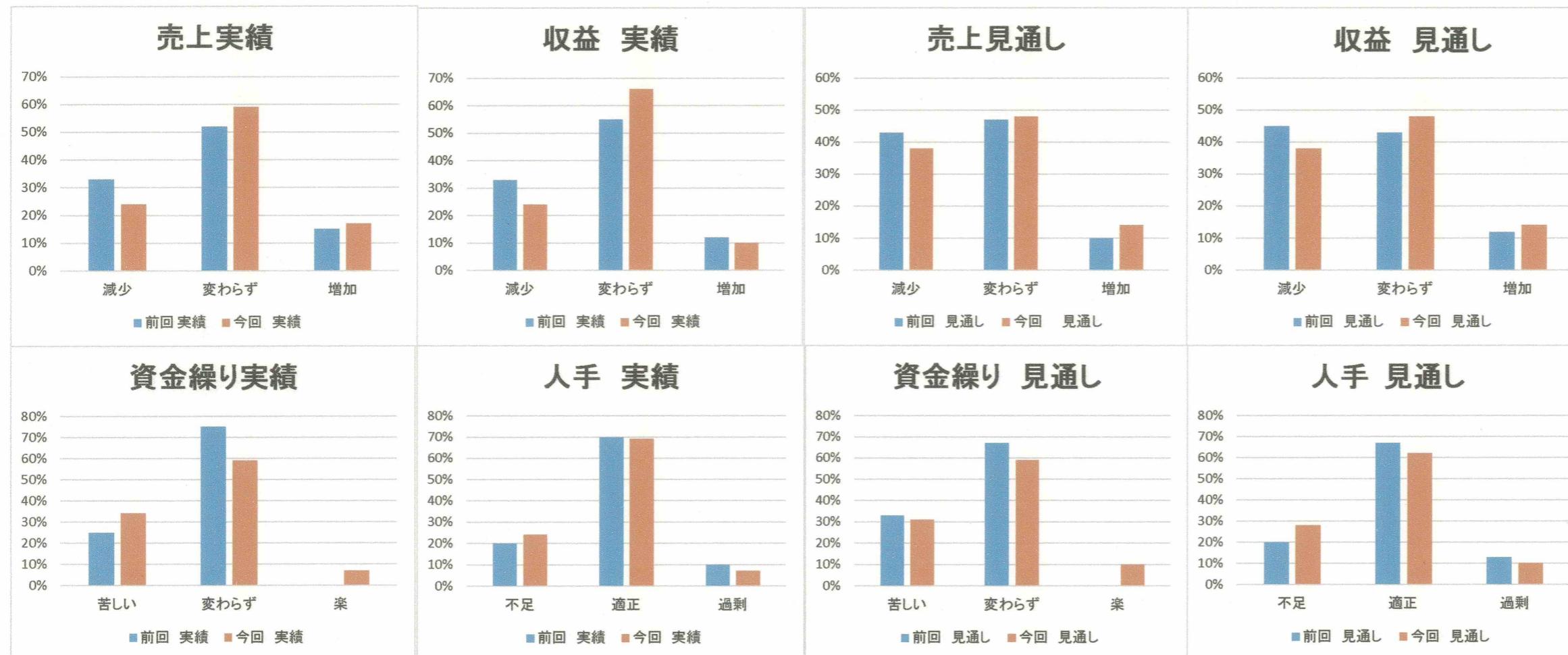
調査結果 サービス業

(1) 回収状況

業種	対象事業所数	有効回答数 (回収率)
卸売業	39	6 (15.4%)
建設業	261	13 (5.0%)
小売業	458	26 (5.7%)
サービス業	425	29 (6.8%)
製造業	125	16 (12.8%)
全業種	1,308	90 (6.9%)

考察

売上・収益の実績・見通しともに変わらずとの回答が多いが、減少と回答している企業の割合は3割を超えており、資金繰りについても変わらずと回答した企業が多いが、苦しいと回答している企業は3割を超えており、コロナ禍は解消に向かっているが、売上・収益の見通しでは、増加を見込む企業の割合は少ない水準。各種物価高騰・コスト高騰もあり、まだ明るい兆しが見えていないものと思われる。



第48回企業短観調査 (2023年1月) 実績分

調査結果

製造業

(1) 回収状況

業種	対象事業所数	有効回答数 (回収率)
卸売業	39	6 (15.4%)
建設業	261	13 (5.0%)
小売業	458	26 (5.7%)
サービス業	425	29 (6.8%)
製造業	125	16 (12.8%)
全業種	1,308	90 (6.9%)

考察

売上・収益の実績・見通しともにやや改善傾向。それに伴い、資金繰りもやや改善傾向である。原材料等の高騰による価格の見直しなどが少し進んだことによるものかもしれないが、人手不足と回答している企業の割合が多いため、労働力不足による受注への影響や、今後のさらなる各種物価高騰の影響などには注意が必要と思われる。

